

社会福祉施設における通路を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	9～10	歩道上において、送迎のため利用者の乗車準備をして迎えに行くため振り向き歩き出したところ、凍結した路面に足を滑らせて転倒し、右側面を地面に打ちつけて足等を負傷した。	52	1～9
1	9～10	当法人事業所のパン包装作業場で配送準備中、床面が濡れていてバランスを崩し、背中から転倒した。	57	30～49
1	11～12	グループの利用者食事スペースで、利用者の見守りと昼食の準備を行っていた際、足がもつれ前方に転倒し、左膝を強く打ってしまった（スニーカー履き）。	57	—
1	7～8	施設近くのバス停でタクシーを降り施設玄関まで歩いている途中駐車場で、滑って膝を捻って、転倒した。	29	30～49
1	13～14	利用者用トイレで利用者のトイレ介助中、オムツパットを取りに行くため歩きだしたところ、バランスを崩してしまい、トイレを隔てている板壁の下方につまずき、左手で支えるように転倒してしまう。	56	10～29
1	19～20	夕食に使用した介護用エプロンを洗濯・乾燥した後、畳むために、リネン室から室外の作業テーブルに運び出していた。積み上げたエプロンのうち、床に落ちた分を拾おうとしたところ、誤って右足で踏んだはずみで、そのまま前方に滑ってしまい、左膝を床に強打し転倒した。	68	100～299
1	20～21	利用者の就寝準備を終え、利用者を居室に誘導しているときに、廊下で足を滑らせ転倒し、右肩をぶつけた。痛みが出てきて、右腕が上がらなくなり、その後、右上腕骨骨頭骨折との診断を受けた。	25	—
1	17～	校庭にて、子どもと鬼ごっこをしている時に、校庭とコンクリート通路の境の窪み（側溝）に足を取られてしまい転倒し、右手首をコンクリート面につき強打し	59	1～9

	18	た。		
1	11～ 12	介護老人保健施設内入所フロアにて、入浴の誘導中、利用者を探すため受付付近から、居室へと向きを変えたところ、床で滑り転倒した際、右側面の臀部を強打し負傷した。	58	10～ 29
1	9～ 10	デイサービスセンター浴室にて、お客様の洗髪を終え、浴槽に誘導した後の洗い場床をシャワーで清掃中、履いていたスリッパが洗剤で滑り、後ろ側に滑りそうになった。この時に洗面台前に置いてあった椅子の脚部分に左足小指を蹴り上げるようにぶつけ負傷した。	39	—
1	15～ 16	介護サービス利用者宅から次の利用者宅へ徒歩で移動中、横断歩道へ足を踏み出そうとした際、付近の工事により路面が濡れていたため、足を滑らせ躓き、両膝を路面に強打し負傷した。	69	50～ 99
1	5～6	本社研修へ行く途中、自宅からバス停に行く団地内の道路で、落し物を拾って立ち上がる時に転んで左足を痛めてしまった。	59	—
1	8～9	駐車場から施設へ歩行中、足を滑らせ右後方へ転倒し、右手から転倒した。最初はあまり痛みを感じなかったが、右手首の見た目の状態が異常だった為、すぐに骨折だと分かった。	59	50～ 99
1	20～ 21	遅番業務を終えて帰宅するため、グループホームの玄関階段を下りて、敷地内駐車場のマイカーのある方向へ歩いたところ、凍結した路面で滑り転倒した。これまでの積雪がある中で冷え込んで凍結し、大変滑りやすくなっていた。	57	1～9
1	10～ 11	利用者宅へ訪問するため、近くの駐車場に車を停めて歩いていた際、凍結した道路で滑って転倒した。右足首を痛め立ち上がることが出来なくなり、右足関節三果骨折を負った（全治2ヶ月）。	61	50～ 99
1	15～ 16	利用者宅前で、車イスの利用者を自宅の前まで送る際、道路と家の間に除雪後の固い雪の塊が残っていたので、もう一人の職員が車イスのグリップ部、当該者が前側に位置し、当該者が後ろ向きで車イスを持ち上げ雪の塊を越えて行こうとしたときに、長靴が車イスに引っかかり、そのまま後ろに倒れ尻もちをつき、腰に強い痛みを感じた。	50	10～ 29

1	8~9	駐車場にて歩いていたら、地面が凍っていたためバランスを崩し前のめりになり転倒し、左足に痛みが生じた。	47	1~9
1	7~8	駐車場においてバックで車を止め、事業場に入ろうと車から出て3・4歩歩いた所で転倒した。当日の朝は路面凍結しており、転倒時に右手を路面についたため受傷した。	52	—
1	21~22	事業所の職員玄関を出た所で、すべって転倒、左手をついて転倒の為、その場で腫れを確認した。なお、玄関を出た所は凍っていた。	60	50~99
1	9~10	調理室内で大鍋からやかんにお茶を移す作業において、満杯になったやかんを後ろの台へ乗せ、別のやかんを棚へ取りに行く際、横に移動しようとしてつんのめり、右足に体重がかかり、右膝を負傷した。	47	10~29
1	8~9	施設厨房入口のスロープで、厨房で沸かしているお茶の確認をする為にスロープをくつ下で急ぎ踏んだところ、滑り右足をひねって骨折した。	53	30~49
1	5~6	洗濯室の排水口が詰まり、フロアまで水浸しになっていたため、あふれた水を除去する作業中に足を滑らせ転倒し、足を骨折した。	78	30~49
1	18~19	子どもの夕食の後片付けの時、雑布を洗う際、食堂外の洗い場に出る時、廊下とベランダの間の段差の所に置いてあったステンレス製の物干竿を踏み足を滑らせ転倒した。通常、物干竿は置いていないが、強風雪のため降ろして置いてあった。当初は軽い捻挫程度と思っていたが、骨折であることが分かった。	65	10~29
1	10~11	1件目利用者宅訪問後、2件目利用者宅に到着した。普段は車を駐車し利用者宅玄関へ通じる急な坂道へと続く私道を歩いて向かうが、この日は積雪により路面が凍結していた。いつも通り車を降りて移動しようとして数歩歩いたところで右足が滑り、そのまま右上肢が下になる姿勢で転倒した。その際、右手にプラスチック製の硬く四角いファイルケースを持っており、転倒時にカバンが右身体の下になり、ちょうどカバンの角の上に肘から下が乗り、自分の体重が右肘とファイルケースにのりかかり、右肩は路面に打ちつけた為、右肘部分の骨折となった。	51	50~99
1	9~	デイサービス利用者宅で利用者の迎え業務中、利用者を送迎車に乗車させた後発車しようとしたところ、積雪の影響で車輪が空回りをした。そこで、除雪のため	61	—

	10	降車し車両後部に積んでいたスコップを取りに歩いて移動した際、雪面に足を滑らせ転倒し負傷した。当時、雪面は凍結していた。		
1	11～ 12	廊下で滑り、左手をついた。	44	10～ 29
1	9～ 10	介護老人保健施設3階の廊下を、職員用更衣室に向かおうと歩行中に、床面についた足を誤って踏み違え、ひねって転倒した際に右手をついてしまった。起き上がったときに外傷はなかったが、右の腕と手が動かない状態になった。	57	50～ 99
1	13～ 14	勤務する寮の対話室前の居室にて、利用者の尿失敗の対応中に、畳を動かして処理をするため尿をよけて畳を動かしていたが、片足でのバランスが取れず、転倒した際に膝をひねり、強い痛みを感じる。	46	—
1	16～ 17	お客様を探しながらスーパーの駐車場に戻る途中、坂道の交差点を青信号で渡っている時に足が引っ掛かり、転倒して膝をつき、立ち上がろうとしたときに膝折れた。当初は打ち身で膝をすりむいた程度とっていたが、痛みが増し、後日、打撲ではなく骨折と診断された。	71	50～ 99
1	16～ 17	子供たちとだるまさんが転んだをしていたとき、小走りをして急に止まろうとした際に後ろに滑り、とっさについた右手と背中を強打した。	66	10～ 29
1	14～ 15	洗濯室の畳の部屋で洗濯物をたたみ、両手で持って立ち上がり、室内の物干し竿にかかってある足マットを取るため、洗濯物を右手で抱きかかえるようにして持ち、左手でそのマットを取り、体勢を被服室側に変えたところ、畳の部屋の床の段差を踏みはずして転倒し骨折した。	46	30～ 49
1	17～ 18	ヘルパーとして家事支援を行う為、訪問先アパート隣に車を駐車し、アパートへ向かう際、駐車場のチェーンを跨いだ時に後ろ足の右足をチェーンに引っ掛けてしまい、バランスを崩し左足首を負傷した。	69	10～ 29
1	13～ 14	事務所へ書類を持って行き、自分の持ち場へ戻る際に小走りに走っていたところ、事務所と老人ホーム建物の間の通路にある雨水ますの段差でつまずき、右足首に捻挫・骨折を負った。	35	30～ 49
		朝、職員昇降口から入り、廊下を小走りで更衣室に向かっているとき、左足を		

1	7~8	捻った。咄嗟に廊下に設置している手摺を掴んだので転倒は免れたが、左足に若干の痛みがあったため、湿布を貼って仕事を続けたが、痛みが強くなり、その後、左第4中足骨基部骨折と診断された。	57	50~ 99
1	8~9	玄関前で御利用者を送迎車から降ろす為、運転席から車の後方を回った際、路面が凍結しており滑って転倒し負傷した。	42	100 ~ 299
2	15~16	厨房で夕食の調理が終わり床モップ掛け清掃後に作業台の拭き取りをしようと布巾を持って歩行中に左足を滑らせ転倒した時に右膝を床に強打して負傷した。	68	30~ 49
2	11~12	勤務地である介護老人保健施設の地下1階にて、デイケア利用者の入浴介助を終え、車椅子用の特別浴槽室から退室する際、水で濡れた床で左足を滑らせ転倒した。	58	50~ 99
2	18~19	会議が始まる前に駐車場に停めてあった自分の車から物を取りに行く為、サンダルを履いて小走りに車へ向かっていた途中、サンダルが脱げ前のめりに転倒し頭をアスファルトの地面に強く打ちつけてしまった。	58	50~ 99
2	17~18	訪問介護利用者宅でケア終了後、退出時に玄関でドアを閉める際に、ドアノブをきちんと閉めたか確認のため振り返った時に玄関先の段差で躓き転倒し、肋骨を骨折した。	60	50~ 99
2	8~9	自宅より徒歩5分程先の駐車場で縁石（車止め）に躓き転倒し、左足を骨折した。	65	1~9
2	6~7	職場の周りの歩道を歩いている時、路面が凍結しているのに気付かずに滑って転倒した。その際、右手から地面についたため、右手首を打撲した。	49	300 ~ 499
2	16~17	駐車した車より利用宅に向かう時、庭先のとび石に足を滑らせた。サンダルを履いていて手にバインダーを持っていた為手がつけずに足、腕、胸を打ちつけた。コンクリートに体を打ちつけて立ち上がることが出来ない状態であった。	58	30~ 49
2	20~21	当施設内特別養護老人ホームC棟2階トイレにて、利用者のオムツ交換作業準備のために棚の上部にある清拭用ボトルを取ろうとした際に、濡れていた床に足を滑	50	100 ~

		らせ転倒した。転倒時に、体を支えようと左手を床につき負傷した。		299
2	14~15	校外活動のため、児童を指導中インラインスケートを行っている際体勢を崩し、右手をついてしまった。右手をついた際、右手首を骨折してしまった。	44	1~9
2	14~15	本館2階において嘔吐物を処理して次亜塩素酸を散布し清掃した後、湿っていた床で左足首を捻りながら転倒し負傷した。左足首捻挫1週間ほど休業予定	54	100 ~ 299
2	17~18	校庭で女兒2人と築山の周りでリレーをしていた。2回戦の走り始めの数歩で左足着地の際に膝がぐにゃつとなり転倒し、左膝が激痛のため横になっていたものの息を整え座った。足の曲げ伸ばしが困難で足の付け根などにも違和感があり、歩行も困難な状態となった。転倒した際に砂利に両手をついたため擦り傷あり。	27	—
2	15~16	地下の廊下を清掃中、滑って転倒し、その際手をついてしまった。その後手に激しい痛みを感じたので整形外科に受診した。手首の骨折と診断を受けた。	68	100 ~ 299
2	12~13	デイサービスの洗面台前に於いて利用者の口腔ケア後利用者がふらつき右へ転倒、急いで介助するも及ばずに共に転倒した事故である。右肋骨・腰部を負傷した。2日間は痛みを我慢して出勤したが腰痛がひどくなりその後休業した。	68	100 ~ 299
2	14~15	厨房内で料理の盛り込み後、伝票を取るために厨房内にあるデスクへと移動する際に、デスク前にて躓き、左下側へ転倒した。股関節辺りに痛みがあり、立てなくなった。	58	1~9
2	12~13	自転車で送迎車を取りに行くため、事務所から事業所前の駐輪場に向かおうとしたところ、事務所前で足を滑らせ、手を地面に打ちつけて負傷した。	73	10~ 29
2	18~19	ホーム内の食堂で夕食が終了し、利用者を順番に就寝のため部屋へ誘導していた。窓側の利用者に声掛けに行こうとした時、床が濡れていて右足が後ろに滑り、そのまま右膝が床につくように転んだ。	39	100 ~ 299
2	8~9	デイサービス送迎のため利用者様宅前の敷地と歩道の間立って待機していた。敷地と歩道の間には段差があり、段差に気付かず上に立っていた。階段から下りられる利用者様を見上げつつ動きだしたため、足元を見ていなかった。右足に体	49	50~ 99

		重をかけたところ、体が傾き足を捻った。		
2	9~10	利用者を迎えに行くため、施設の玄関方向に小走りで言った際、慌てていたため滑って転倒し右足首を痛めた。	27	1~9
2	13~14	当施設2階利用者N様の介助中、別の利用者Y様の入浴時間になり、準備の為、1階浴室へ行く廊下を早足で歩いている途中転倒し、右膝を骨折する。	70	10~29
2	9~10	利用者の首周辺の切創の処置のため、利用者の背後にまわり右足でふんばり、利用者が腰かけているソファに左膝をかけて処置作業をしようとした。ソファの位置を十分把握しないままに、処置の為上記の動作を行ったため、左膝がソファに掛からず、床に左膝が落ち、床に強打した。結果、左膝蓋骨を骨折した。	65	30~49
2	16~17	当日夜勤勤務のため出社後、オムツを確認し不足分のオムツを補うため屋外にあるオムツ庫へ行った。当日は小雨が降っており水溜まりも出来ている状態でありオムツ庫前で転倒し股関節等を強打した。転倒後も立ち上がれず痛みを訴え続け救急車にて病院に搬送した。	42	50~99
2	13~14	他職員が床の水拭き清掃を行っている所を急いで通り過ぎようとした際に、左足を折り曲げ、右足が前に出た状態で滑り、右腕から倒れ込むように転倒したものである。（2Fスタッフルームから第1トイレの前を通り2F出入口へ向かっていた。）	57	50~99
2	12~13	稼働が終わり、社用車を駐車場に戻し自家用車で就業場所へ社用車のカギを戻して就業場所から自家用車へ戻る際に、縁石に躓きそのまま前方へ倒れ込み手足胸等を強打した。	50	1~9
2	9~10	コンクリート造りの施設入口にて、入居者様の内服薬を持って行く途中、入口の掃除をしていた掃除機のコードに引っかかり転倒した。左頬より出血し、左腕を強打する。	65	1~9
2	13~14	昼食に行こうと施設の入り口を出たところ、右足がブロックに躓き、右側に転倒し右肘を打撲してしまう。ドアストッパーとしてブロックを置いていた。	61	—
		施設利用者を迎えに行き送迎車に車椅子を固定している際、石ころに足をとられ		100

3	8~9	転びそうになり、そのとき左足で体重を支えたため、過度に負担がかかり、左足ふくらはぎを痛めた。	66	~ 299
3	14~15	訪問入浴サービスを利用するお客様宅の庭にて、入浴準備の作業中、庭の凹みに左足を取られ転倒した際、左足首を痛めた。	45	30~ 49
3	11~12	厨房内で調理中、床が濡れていたため滑って転んだ。	53	30~ 49
3	11~12	利用者の自主リハビリの付き添いを終え、リハビリスペースから持ち場に戻ろうとして、置いてあったサイドテーブルの脚に自分の足を引っ掛けてしまい、前方に倒れ込む形で転倒し打撲した。	62	—
3	10~11	利用者様のお宅へ伺うため、マンション前に設置されたエスカレーターに乗る直前につま先がタイルの溝にはまり転んでしまい、腕から倒れ込んだ姿勢となり、左腕を負傷した。	58	30~ 49
3	13~14	最後の訪問看護に向かうため、訪問看護ステーションから電動自動車を運転し、マンション前に停車して荷物を持って玄関に入ろうとしたところ、段差に足をとられてバランスを崩し、反射的に地面についた右足を外側に捻り受傷をした。	30	10~ 29
3	9~10	お客様宅に介護相談業務に伺う途上、コインパーキング内の突起物に右足がつまづき転倒し、右足首くるぶし部位に左右2ヶ所の骨折を負った。	68	30~ 49
3	9~10	避難訓練の際に机の下に入ろうとした際、子供の足に引っかかり、そのまま転倒し右足をひねった。	60	50~ 99
3	9~10	事務所内で、掃除機のバッテリーをコンセントに差そうと移動しているとき、床でつまずいて転倒し、右足膝の下を打撲した。	64	10~ 29
3	10~11	遊戯室で子どもたちと一緒に走っていた時に滑って転倒し、左手を出して仰向けに倒れ骨折した。	24	50~ 99
3	16~17	児童と校庭で鬼ごっこを行った際、右へ方向転換しようとして左足を踏み込んだ時に負荷がかかり、左足に大きな音と衝撃があり、その場に倒れ込んだ。	34	10~ 29
3	8~9	居室で朝食の下膳時に、ベッドに寝ている入居者の胸にあててあったバスタオルを置こうと足を動かした時、ベッドに横付けしてあった電動車いすのフットレス	58	30~



		ト部分に足がひっかかり、仰向けに転倒し、臀部と左手首を強打した。		49
3	13~14	詰所前で少し早歩きしているとき、右足先をつまずき足がもつれて床に胸から倒れた。時間がたつにつれ胸部と左腕が痛くなり、左腕は肩から上にあがらなくなり、胸は力を入れると痛むようになった。	49	50~ 99
3	15~16	施設内に於いて、帰宅する利用者の対応を他の職員へ依頼し、カルテを記入するため就業場所へ急いで戻ろうとしたところ、バランスを崩し転倒し、左足首を捻った。	31	100 ~ 299
3	16~17	訪問介護サービス利用者宅にて支援中に、台所より他の部屋に移動しようとした際、10cmくらいの敷居（段差）があり、慌てて移動しようとしていたため、右足の小指をぶつけてしまった。	68	10~ 29
3	2~3	夜間勤務中、利用者が居室からホールへ出てきたため、確認しようと移動した際、仮眠用の枕に躓き転倒した。	63	50~ 99
3	7~8	厨房前に設置してある台車（車輪）用消毒マットを踏んでしまい、消毒液の付着したスリッパで歩いているときに足が滑り転倒し、左手をついて骨折した。	68	10~ 29
3	15~16	調理場で、肉を切って食材を冷蔵庫に入れようと向かった時に、冷蔵庫の前に生ゴミが入ったバケツがあり、それに左足が引っ掛かり、右膝から下の床に落ち、膝の皿を骨折した。	58	30~ 49
3	18~19	事業場建物の洗濯室において、洗濯物の整理作業を行っていたとき、洗濯物を抱えて身体を移動した際に、足元にいろいろな物が置いてあり手狭だったため、置いていた洗濯かご（約H50cm、Φ30cm）の取っ手に足が絡まり、前方に転倒し頭部及び右手を打撲した。その際、身体を庇おうとして右手で支えた為に負荷がかかり、骨折した。	68	30~ 49
3	18~19	洗濯室前廊下で洗濯が終わっているかの確認後に、廊下に出たところ足を滑らせてしまい、左足を痛めた。	60	10~ 29
3	16~17	コンテナボックスにごみを捨てに行く時、少し大股で水たまりをよけようとし、左足をすべらせ、右足を内側にひねったまま体重をのせて着地してしまい骨折した。	23	10~ 29

4	9～ 10	訪問中の掃除道具の片付けの最中、バケツと雑巾を持ち、台所から納戸へ扉を開けて段差を降りたところに設置されているすのこの左上部側を歩いていた際、足を踏み外して15cm位下のコンクリートの床に左足外側の骨の部分を持ち上げ、足の小指付け根部分を骨折した。	63	30～ 49
4	18～ 19	遅勤勤務が終わり、タイムカードを押したあと施設内を玄関に向かって歩いていた。途中入居者さんへ手を振り、他の入居者さんのお部屋前の廊下に差し掛かった所で突然滑って転び、咄嗟に頭・腰をかばったが、右腕を下に倒れてしまった。他の職員がモップで水拭きをしていた事を認識していたが、滑っている感覚がないため普通に歩行していた。	62	100～ 299
4	16～ 17	施設利用者宅にて、送迎のため運転手と共に利用者様を車椅子で屋内に送り届けたあと、階段のある玄関に設置した車用スロープを片付けるために三段目から二段目に降りたとき、スロープの端につまずいて転倒し、左肩と頸椎等を痛めた。	50	10～ 29
4	10～ 11	ホーム2階廊下において、御利用者様入浴時に使用した衣類が入ったカゴ（50cm×35cm×25cm）を持ち他の部屋に移動のため歩行中、障害物は無かったが、つまずき転倒し、尻を打ち骨折した。	65	30～ 49
4	5～6	特別養護老人ホームの3階フロアにおいて、夜勤業務で介護職員として就労中、2ユニットある3階フロアで入所者様が不穩でナースコール頻回のなか、ユニット間を夜勤として頻回に往復する状況で左ふくらはぎに痛みを感じ、その後、左ふくらはぎ筋肉断裂の診断を受けた。	41	50～ 99
4	16～ 17	訪問介護のサービスで、利用者宅に到着し門のインターホンを押し、玄関まで歩いている途中で石畳でバランスを崩し転倒した。石畳の高さが地面から10cmほどあり、そこに左足をかけた際にバランスを崩し、右手と右肩を他の石畳に打ちつけ、右肘と右脚も負傷した。	52	10～ 29
4	10～ 11	当事業所の介護サービス利用者を車椅子に乗せて、後ろ向きに利用者宅の玄関の上がり框を降ろしていた際、猫のために敷いてあった新聞に足を滑らせ転倒し、尻もちをつき仙骨にヒビが入った。	71	50～ 99
		居室に朝食の誘導を行う目的で訪室したところ、失禁をしていた為シーツ及び更		

4	7~8	衣を交換する為に床に敷いていたマットレスを移動した。交換を終えベッドから離れる際に足を滑らせバランスを崩し、転倒しそうになったのでベッドの柵にかかったが無理な体勢となり、右足に痛みが生じた。	45	30~ 49
4	11~ 12	押し入れに布団を入れた後、背後にいた子どもを避けようとして足がもつれ、仰向けの状態で転倒し、腰を強く打ちつけ。その後痛みは治まったが、別の作業中に再び同じ部位に痛みを感じた。	55	10~ 29
4	11~ 12	園庭で保育中園児と手をつないで歩いていた時、少しくぼんでいた所に気づかず、右足首を捻った。	45	10~ 29
4	9~ 10	機械浴にて入浴介助時、タイルが濡れており足を滑らせ転倒した。	47	50~ 99
4	14~ 15	利用者宅に於いて、車椅子の利用者をスロープを使用して2人で押し上げた。その後直ちに利用者をベッドへ移乗しようと慌ててスロープの中段（高さ約30cm）に左足から飛び乗った際体重が左足にかかって負傷した。	55	100 ~ 299
4	10~ 11	保育園の玄関ホールで、子ども達の散歩へ行く準備をするため靴箱に向かう際、靴箱前の5cm程の段差あるスロープで転んでしまい、左足をくじいて骨折をした。	47	100 ~ 299
4	11~ 12	2Fのシャワー室にて加湿器を洗っていた際誤って仰向けに転倒し、近くにあった踏み台に左脇腹をぶつけ骨折した。	71	10~ 29
4	16~ 17	事務所から利用者宅へ車で向かい、利用者宅近くの駐車場に車を止め歩いて利用者宅へ向かう途中の坂道で足を滑らせ、左足首付近を強くひねった。	24	10~ 29
4	15~ 16	地域支援室を出る際、他職員に報告のため声かけをしようとしたところ、階段を踏み外し転倒した。様子を見ていたが痛みとともに左手が動かなくなった。	60	100 ~ 299
4	16~ 17	施設（放課後等デイサービス）の庭にて、利用者（障がい児）の支援を行っていたところ、テラスより庭におりた際に、庭に穴があいており右足首を捻った。	37	1~9
4	13~ 14	当園の駐車場にて仕事の為駐車場に車を止め、園に向かっていたとき駐車場にあったくぼみに気づかず右足をひっかけてしまい転倒し、右足の甲あたりを負傷	64	50~ 99

		した。		
4	16～ 17	児童クラブ駐車場で子供達と鬼ごっこをして遊んでいる際につまずいて転倒し、車で右膝打撲した。	54	1～9
4	10～ 11	浴室において、利用者の洋服の着衣時に車椅子の背後から前側に移動しようとした際に、左足が車椅子のタイヤに引っ掛かり、転びそうになり、右足で踏ん張ろうとしたが、右足が滑り右膝を床に打ちつけた。	67	50～ 99
4	14～ 15	当法人施設の1階汚物リネン庫にて、庫内奥の汚物袋を取るため奥まで行く際に、床に置いてあった布団の上に乗って歩こうとした時に右足先が布団に引っ掛かり、体勢が不安定になりバランスを崩して前に転倒し、床で右膝を強打した。	54	50～ 99
4	14～ 15	自社倉庫の軒樋を取り付け中、誤って脚立から落下転倒し、全身を打撲し、特に肋骨頸椎を強打した。	20	100～ 299
4	11～ 12	園内の教室前廊下にて、子供を抱えて移動させようとしたところ、足元のわずかな段差につまずき子供を抱えたまま足首を捻ってしまった。	26	30～ 49
5	11～ 12	障がい者支援施設の居室で、居室据え付けの高い位置にある棚に利用者の衣類を入れるため、利用者のいない空のベッドに片足だけ靴を脱いで上がった。片足のまま衣類を棚に入れベッドから降りようと靴を履いていた側の足を下に降ろしたところ、脱いであった靴を踏んでしまい、不安定な着地になり、転倒した。転倒後動けず、他職員に起こしてもらったが、腰と右手首に痛みがあり業務が出来ない状態になった。	43	50～ 99
5	9～ 10	夜勤を終えて、退社するため施設内のエレベーターに乗ろうとした際、足を滑らせて右の腕を下にして転倒し、骨折した。	64	100～ 299
5	10～ 11	訪問看護が終了して職場に戻るため駐車場に向かっている際、いつも通る団地内ピロティを歩行中、雨で路面が濡れていたからか滑って転倒した。右背部～側胸部を強打し、一時、呼吸苦で動けなかった。右背部上部に内出血があり、痛みが強い側胸部には外観変化はない。帰宅後、寝返りもできず痛みも増し、第9肋骨	57	50～ 99

		骨折が判明する。		
5	15～ 16	園舎内にて清掃作業中、フローリングの床を水道水で湿らせたモップで拭いている時に濡れている床で滑ってバランスを崩し、左膝に体重がかかり前のめりに転倒し骨折する。その際、踏みとどまろうとした右足の指先も同時に痛めて骨折する。	51	50～ 99
5	10～ 11	散歩で公園に行き水遊び場で園児を抱っこした際に、足音が見えにくい状態で、足を滑らせ左足首をひねった。	29	10～ 29
5	16～ 17	帰宅する為、勤務地敷地内にある駐輪場にて自転車を出し、一時停止した。乗る準備をしていたところ、バランスを崩し左側に自転車ごと転倒した。その際、地面にお尻から着地した為、尾骨を負傷した。	43	30～ 49
5	6～7	当施設内事務所前の廊下で居室からリビングに移動中、躓いて転倒し、左足全体をぶつけ痛めてしまった。	69	300 ～ 499
5	9～ 10	グループホームから利用者2名と昼食の買い物に出掛けるため玄関の鍵を取りに行き、玄関に戻ろうとして途中にある水栓の蓋の手前に左足をのせたら、足が滑り落ち身体が前に倒れ左右の膝を打った際、右膝を強打し右足首を捻ってしまう。様子を見ながら仕事をしたが、右足首の痛みが酷くなった。	68	100 ～ 299
5	14～ 15	1F廊下で食堂へ伝票を提出しに行った帰りに、水拭き後の水分に滑り、臀部より転倒した。腰部に痛みがあり、立位や歩行が不可となった。	57	30～ 49
5	1～2	施設内ユニットリビングで歩行中、立ちくらみのため、左側へ倒れ左足甲を剥離骨折した。	30	100 ～ 299
5	16～ 17	保育園の遊戯室で、子供達とドッジボールをしている時にボールを拾おうとした際にホースが切れるような音がして、同時に左足が滑る感覚があり、前に倒れた。そのあと左足首が思うように動かなかった。	37	10～ 29
5	18～ 19	小学校にて勤務中、児童を迎えに来た保護者が帰ったところでお伝えしないといけない事を思い出して走って追いかけたところ、勢い余って玄関脇に設置してあ	55	10～ 29

		た三段ボックスに右脇腹をぶつけ負傷した。		
5	5～6	夜勤勤務中、巡視の記録中に利用者のトイレセンサーが鳴ったため利用者の居室に行こうとして廊下で転倒した。	58	30～ 49
5	13～ 14	粗大ゴミを搬出作業中、玄関の段差のところで転倒して左肩と頭部を強打した。	47	1～9
5	8～9	施設の駐車場で、施設を出て車の所まで歩いて向かっている時に車止めに躓き、そのはずみでフェンス下のブロックに頭頂部より激突した。	56	10～ 29
5	12～ 13	厨房配膳室の床を洗浄、清掃しようとしたところ、洗剤を撒いた床の洗浄で滑り転倒し、左手首に痛みが生じた。	59	30～ 49
5	11～ 12	浴室にて入浴介助中、他の利用者の介助に移るため浴室を歩いている際、床が濡れていたため足を滑らせ左側を下にして転倒し、左脇腹周辺を強打した。転倒時の記憶は曖昧であるが、左手は体の下敷きになっておらず、上の方に伸びていたため手の着き方が悪く、肩を痛めたと考えられる。	31	30～ 49
5	11～ 12	モップを使い掃除をしていたところ、足を滑らせて転倒した。当初は捻挫と思い自宅療養したが、腫れがひかず痛みが増した。	48	30～ 49
5	11～ 12	デイサービスセンターにて、入浴介助後、外においた洗濯物を干しに行くときに風呂場で使うスリッパのまま事務所の中を移動してしまい、スリッパの底が濡れていたためか、右足のスリッパが床に吸盤のように引っ付き右足が上がらず、上半身から前に思いきり転倒してしまった。	67	10～ 29
6	18～ 19	残業中に厨房内で清掃業務を終え、モップを片付けた後、入り口付近で前のめりに転倒し、右脇腹を強打した。床が濡れていたため、滑って転倒した。	65	10～ 29
6	18～ 19	厨房に近い住宅のお客様の配膳時、保温庫に汁物が残っていたことに気づき、厨房に戻ろうとした際、入口に敷いてあった小さいカーペットごと滑って転倒し、腰を強打し、動くことが出来なかった為、救急車を呼んでもらい、そのまま入院した。	58	30～ 49
	10～	当社が指定管理者としてその運営を委託されている児童館において、当館所属の当社職員が、児童館のプレイルームの倉庫で幼児サークルの準備中、足を滑らせ		30～

6	11	て転倒した。転倒の際、右脚を強く伸ばした状態で転倒したため、右腿に強い張りの痛みが出た。転倒時に座卓の脚部分に腰を強く打った。学童クラブ室にて様子を見たが、痛みが引かなかった。	24	49
6	7~8	当施設内地下駐車場入口において、斜面を下りる際、斜面の終わりかけ辺りで右足首を捻り、負傷した。	53	100 ~ 299
6	17~ 18	図書ホールにて、子ども達と保護者に紙芝居を読んでいる時、紙芝居に描いてあるキャンディを子ども達一人一人に、「どうぞ」と食べる真似をして配り、後方へ一歩下がった際に床で滑って転倒し、右足リスフラン関節を脱臼骨折した。	47	10~ 29
6	14~ 15	施設内の廊下清掃を行っていたところ、滑って足をからませ躓いてしまい転倒し、その際に左膝を強打した。当日は痛みはあったが様子を見ていた。翌日になっても痛みが治まらなかった。	75	50~ 99
6	16~ 17	特別養護老人ホーム内の一般浴室で清掃をしていた。大浴槽に入るためのスロープ部分を洗剤を使ってデッキブラシでこすっていた時に足が滑り、右手を床につけて支えようとしたが、反動で後ろに倒れた。後頭部が大きく腫れ、右手を握ることが出来なかった。（当時、長靴を着用していた。）	65	100 ~ 299
6	14~ 15	会社内2F廊下にて、入浴者を迎えに行こうとしていた時、2Fサロンを通り、3Fに階段で行こうとして走っていたところ、床が湿っていて躓いた。その際、前のめにバタンと倒れ、胸と右肘と左膝を打った。	70	50~ 99
6	17~ 18	デイサービス終了後、施設内を清掃するため水モップを取りに行こうとした時に、テーブルの上にチェック表があることに気付いたため、食堂にいる夜勤職員に届けに行った。その際、廊下を急いで歩いたため、靴のつま先が床に引っ掛かり、躓いて前方に転倒した際、左半月板を強打し骨折した。	62	10~ 29
6	23~ 24	入居者の居室で対応を終え、2階介護職員室に戻ろうとしたところ、ナースコールが鳴り、どこの居室かを確認し急いで行こうと振り返った時、バランスを崩して左足を挫き、その場に転倒した。	25	100 ~ 299
6	9~	訪問先の玄関で靴を履こうとした時に、車椅子用のスロープに一步踏み出した	74	50~

	10	時、滑って仰向けに転倒し、頭部を床で打ちつけた。		99
6	20～ 21	3階グループホームにて、就寝介助中のA居室から、不穩状態になっているB居室へ急いで行こうと、リビングを小走りしていた際に、踏み込んだ左足にブレーキがかかり、左側からバランスを崩し、左大腿部から激しく転倒した。	53	50～ 99
6	13～ 14	モップがけ直後とは気づかずに、3F北トイレ汚物庫入口付近で滑って転び、右足足首を捻った。	66	50～ 99
6	7～8	出勤し、外のロッカー室に向かう時、坂道で滑って転倒した。その際に右手をついたので、右腕と右肩を負傷した。	52	50～ 99
6	9～ 10	送迎を終え、送迎車から降りて車の後ろを通り、玄関へ入ろうと右へ向きを変えようとした際、ぬかるんだ地面に滑って右手をついて負傷した。	51	30～ 49
6	17～ 18	夕食を終えたご利用者の下膳の際、エアコンからの水漏れにより、床が濡れていたことに気付かず、左手に食事用エプロン、右手に食器がのった盆を持った状態で足を滑らせ、そのままの状態転倒した。その際、お尻と左肘を床に打ちつける形となった。すぐに氷で冷やしたが、翌日になっても痛みが治まらず、病院受診をしたところ、仙骨骨折、左肘関節部打撲傷と診断され、後日入院に至る。	32	10～ 29
6	16～ 17	利用者の介護業務のため、老人ホームを訪問中、玄関の外で弁当ケースを受け取り、玄関からフロアへ移行した時に、段差解消のための置床の空間に足指を引っ掛け、そのまま倒れ、頭と左膝を打って負傷した。	68	10～ 29
6	3～4	朝食の準備をする前に、入居者様の安否確認をしようとリビングを歩行中、小さなゴミを発見し、それを拾おうとした時に足がつんのめった状態でバランスを崩し、転倒した。痛みの為、しばらく動けない状態であった。	67	1～9
6	10～ 11	デイサービス施設内で利用者を介護中、その他利用者の所へ移動中、足が絡まり自ら転倒した。その際、右手よりついたため骨折した。	60	10～ 29
6	11～ 12	着脱室より利用者の荷物を持って出てきた時に、右足が先に滑り体勢が崩れ、左足を捻った状態で倒れた。転倒のはずみで壁に左側頭部を打った。	59	100 ～ 299
	17～	坂道になっている歩道で、児童の帰宅送迎中に、一緒に坂道を徒歩で下っている		10～



6	18	時、雨で濡れている側溝の蓋（グレーチング）で滑って転倒した。その際、地面についた左手首の腱を損傷し、骨折した。	45	29
6	15～ 16	業務中、施設内東側廊下にて、履いていたスリッパで躓き、前のめりになり右膝を床に強く打ちつけて、うつ伏せに倒れ込んだ。	61	50～ 99
6	12～ 13	休憩時間になったので2階ホールから更衣室に向かって廊下に出たところで床に躓いて（障害物なし、床濡れなし）、浴室の前で転倒した。浴室の角か手すりに左側頭部と打ち、そのまま左肩を床にぶつけ負傷した。	64	30～ 49
6	11～ 12	お弁当の配達先で滑って転倒し、頭と左肩を強打した。現場は坂道になっており、苔が生えていて滑りやすい道であった。当時、お弁当を2つ持っていた。	61	100 ～ 299
7	10～11	入浴脱衣室にて、自力で立つことが困難な障がい者の入浴を終えて、シャワールームから車イスに移乗介助の時であった。他の障がい者も利用していたこともあり、脱衣室の床が水で濡れている状態であったため、移乗の際に足が滑り転倒した。また、抱えていた障がい者が支援者の左足に倒れてきた瞬間、骨が折れたような音がした。激痛が走り立つことができない状態になったため、救急車で病院へ行くことになった。	57	50～ 99
7	10～11	当園の調理室で園児の昼食の準備中に鱈の天婦羅を揚げている所を通過した時に、床に落ちていた油に足を滑らせ前のめりに転倒した際に左手を冷蔵庫の底の留め金に指を入れて負傷し、転倒時に両膝も打撲した。	65	30～ 49
7	13～14	施設内の食堂で水分補給の準備をしている時に、普段から車イスから立ち上がり転倒の恐れのある利用者が車イスから立ち上がろうとしていたので、静止しようと利用者のところに小走りで行く途中に床につまずいて受傷。左かかと部分に痛みが走った。その後痛みはあったが湿布を貼り、終業時刻まで勤務したが翌日になっても痛みが治まらなかった。	64	50～ 99
7	16～17	施設内の玄関で、サービス利用者様の帰り支度をしていた。利用者様7人の私物手提げ鞆を玄関の下駄箱上に置きに行く際、荷物で足元が見えない状態で段差を降りようとしたため、段差手前で左足首を内側へ捻り、荷物をもったまま段差下へ右膝をつくように転んでしまった。	44	1～9

7	11~12	職場の買い物終了後、駐車場にて車から降りる時、ふらつき転倒して負傷した。	62	100 ~ 299
7	20~21	施設駐車場で開催された夏祭りが閉会し、片付けのために浴衣から動きやすい服装に着替えるため施設建物内に戻る際、来賓席とパイプ椅子席の間を小走りで通ったところ、来賓席に敷いてあったゴザに足を取られ転倒する。右を下にして右手と顔を地面に打った。その後、施設内で看護師から応急手当を受けた。	52	100 ~ 299
7	7~8	早番勤務中に、事業場内車務所前に設置してあるパソコンの配線に足が絡まり転倒する。左下半身を地面に強打した。診断の結果、左大腿骨頸部骨折となった。	72	10~ 29
7	22~23	施設内における夜勤中でのナースコール対応のため、お客様の部屋へ向かっていた際の出来事。早歩きでお客様の部屋へ近づきながら、遠方より廊下天井に取り付けられたナースコールランプを見て、どの部屋のどのお客様であるかを目視確認していた際、足元の椅子に気付かず、勢いよくつまずき転倒した。不意を突かれたことに加えて、右手にPHSを持っていたことから、受け身が左手だけになってしまい、左手に負荷がかかってしまった。湿布を貼って様子を見ていたが、痛みを耐えかねた。	55	50~ 99
7	10~11	デイサービス施設内において、施設利用者のリハビリ中、リハビリ中の利用者の回点支持杖と靴を隣接するケアホームに取りに行き戻る際、左手に持っていた回点支持杖を右手に持ち替えようとした時つまずき転倒し被災負傷した。	68	1~9
7	9~10	当社施設6階の入居者居室で介護中、テーブルに置いてあった入居者のタオルを回収しようとしたところ、通り道が狭く足元のバランスを崩し転倒した際車イスの肘掛けに手があたり負傷したもの。	60	30~ 49
7	11~12	就業終了後、帰宅のため、会社の玄関にある下駄箱で靴にはきかえ1、2歩進んだ直後に何かにつまずいたのか下駄箱の前で転倒し左膝関節を骨折、右肩を強打した。	66	30~ 49
7	9~10	自転車で自宅からお客様宅へ向かう途中、路地から車が出てくるのが見えたため止まろうとしたところ、濡れたマンホールの上で滑り転倒した。	60	100 ~

				299
7	13~14	介助者宅において、介助を終えて戻るため、玄関を出た際に、約10cmの段差を踏み外し誤って転倒し負傷した。	72	10~ 29
7	12~13	昼休み自分の昼食を取りに厨房へ行った。入口に少量の水が溜まっていたが、気づかなかった。左足が滑ってしまい、右足膝をついて止まった。強く打ってしまい、膝蓋骨骨折をしてしまった。	63	50~ 99
7	11~12	ご利用者様をご自宅に送り届けた後、階段を下りて門を出たところで段差に足をとられ転倒した。	55	50~ 99
7	7~8	洗浄室で食器の洗浄作業を行った後、鍋をコンロで温めるため調理室に移動中に転倒した。その時、床には物などは置かれておらず、乾いた状態で、つま先が床面に引っかかったような感じで転倒した。転倒した際、右膝蓋骨を骨折し左肘にあざができていた。	63	10~ 29
7	16~17	職員用トイレから出て、タイムカードを押すためにレコーダーの位置まで歩いて進んだところレコーダー付近の廊下が濡れていて足が滑り右臀部を下に転倒した。痛みのためしばらく動くことができず、他の職員の手を借りて立ち上がり、帰宅した。自宅では歩行時に痛みがあった。痛みが続いた。CT検査にて大腿骨頸部骨折にて、手術の要有りとのことでそのまま入院となる。	57	100 ~ 299
7	17~18	厨房の出入口を出てすぐ隣の洗濯室の出入口に入るため体の向きを変えようとしたとき、体が右側に倒れ、転倒を防ごうとして右手をついてしまい、その後、激痛とともに腫れ始めた。	55	100 ~ 299
7	10~11	体育館入り口前で、児童を並ばせようとして右手を挙げて後ろ向きに進んでいた時車止めに踵があたり転倒し左手を地面に打ちつけた。	55	10~ 29
7	18~19	被災者が業務を終え、事業所に隣接した職員駐車場の自分の車へ向かって歩いている途中、砂利を敷いてあるセメントの坂道の通路にさしかかったところ、砂利で足元が不安定だったため、足をとられ滑って転倒し右足を負傷した。	54	30~ 49
7	8~9	1階南側トイレにて、被災者（妊娠7ヶ月）がトイレから出て手を洗った後、廊下へ出ようとした時、履いていたクロックスタイプのスリッパがタイル張りの濡れ	38	100 ~

		た床で滑ったのか、出入り口付近で転倒した。その際、後頭部と背中、腰部を打撲した。		299
7	10~11	次の訪問先へ向かうため、訪問した利用者宅玄関先の急なコンクリートの坂道を徒歩でおりている途中で転び、腰をついた時に（腰は打撲）左手をついたために左手首を骨折した。	75	10~ 29
7	14~15	区役所内にて、休憩中、トイレを使用し、トイレ前で転倒した。	51	10~ 29
7	19~20	夜勤の勤務中に、短期入所利用者の様子を見るために、利用者の居室に向かう途中で重度棟女子支援員室前の廊下で転倒した。転倒した理由は不明。	52	30~ 49
7	14~15	買い物代行支援にて車で店へ向かい、駐車場から店内に向かう際、買い物用のカートを避けようとした時、誤って車のタイヤ止めに右足小指をぶつけて負傷した。	46	50~ 99
7	14~15	入浴準備をする際、慌てていたため履物が脱げかけてフロアで躓き、顔面から倒れた。床へ転倒する際、棚の角に右手首をぶつけ、同時に首をひねった。	64	10~ 29
7	9~10	書類を提出するため、施設内駐車場に車を止め、入り口へ歩いて向かっていたところ、縁石に躓いて転倒し、左膝を負傷した。	58	10~ 29
7	16~17	保育園主催の夏祭りに出勤し、保育園から400メートル先の職員駐車場に車を停めて降りる時、砂利の駐車場に足をつき、石があるのに気づかず、右足を左右にこねて、痛みが出た。	58	30~ 49
7	11~12	施設内手芸室前にて、教員特例介護等体験実習生へ利用者の手芸作品を見せ、説明する際、フロアと手芸室畳間の境で滑って転倒。右手首を骨折した。	59	30~ 49
7	14~15	厨房にて、買ってきた食材を運んでいる時に、清掃後で床が濡れていたため、誤って滑って前方に転倒して左膝を打った。膝を打った後、徐々に痛みが強くなり、歩けなくなり、「左膝蓋骨骨折」と診断された。	66	10~ 29
7	15~ 16	入居者の代行で買い物をした荷物が事務所内にあった。車イスの入居者も数名居て通路が狭くなっていた。そのような中、荷物を入居者の部屋へ運ぼうと思い荷物を持ち上げた際ふらつき、車イスのタイヤに躓いて転倒し腰を打った。その後	60	10~ 29

		特に痛みは無かったが、夜間から腰の痛みが強くなった。		
7	17～ 18	施設の清掃後、モップのホコリを払おうと戸外に出た際に、扉どめ用に置かれていたコンクリートブロックに右足で乗ったところバランスを崩し、左足をひねりながら着地してしまい、第5中足骨を骨折した。	54	10～ 29
7	19～ 20	グループホーム廊下にて、ゴミ袋と掃除用具を両手に持ち、清掃作業の為歩いて移動中、床面につまずき転倒している。帰宅後に痛み、腫れがひどくなる。	39	10～ 29
7	16～ 17	2才児保育室で夕方の自由遊びの体育を行っていたところ、タオルハンガーを移動して空いたスペースに紙ゴミ用袋を掛けようと児童用イスに登って作業をした。作業を終え児童用イスから降りる際、背後に児童が近寄ってきたため接触をさけながら降りようと考え、右足を床に降ろした途端床にあった道具に足をとられてすべり、勢い良く床に尻もちをついた。その際左手を手のひら側から床につき受傷した。保育士は痛みで手を動かすことができず、整形外科で左手首橈骨遠位端骨折と診断された。	60	30～ 49
7	18～ 19	当別養護老人ホーム3階入居者食堂にて、入居者の食事介助中、床に落ちていた残菜に滑り、右膝を床に強打した。	63	100 ～ 299
7	13～ 14	利用者宅にてサービス中に、リビングの段差を踏み外し、足元の扇風機を避けようとして焦って転倒した。転倒した際、頭をガラスの引き戸にぶつけ、お尻から転倒した。	73	50～ 99
7	11～ 12	1階ダイルーム一般浴室にて、利用者の入浴介助中、徒歩にて移動した際に床が濡れていたためバランスを失い、仰向けに転倒し、身体の背中側全体を打った。	49	50～ 99
7	16～ 17	杖をつきながら、廊下をマットを引きずりながら歩いているとき、マットレスに躓き、うつ伏せに転倒した。	55	30～ 49
7	5～6	夜勤中、朝になり、利用者の新聞を所定の場所に持って行こうとして、スタッフ室の机の上に置いてあったパソコンのコードに足を引っ掛け、前方に転倒し、両手をつき骨折した。	64	10～ 29
		1階プラットホームにおいて、配送車に商品を積み込む作業中、両手に商品ケー		

7	9～ 10	スを持った状態で地面に降りようと、床に尻を着いて片足ずつ降りたとき、昇降用に置いてある地面のブロック1個が見えず、地面だと思い左足をブロックにのせて右足を下ろしたため、体勢を崩して左足を捻った。	21	10～ 29
7	9～ 10	デイサービスでの朝の送迎時（迎え）、利用者宅にて会社へ連絡を取るために車内の携帯電話を取りに戻る際、利用者宅の玄関にあったマットを踏んだ。このとき、マットが滑り、右膝をひねりながら転倒し、右膝関節捻挫および右股関節捻挫を負った。	50	10～ 29
7	14～ 15	3F浴室で入居者の入浴介助中（外介助）、車椅子のフットレストに足が引っかかり転倒し、手を浴室の床についた。その後、手首を動かすことができず固定し、呼吸も荒く、痛みが強かったため救急搬送された。	60	30～ 49
7	18～ 19	事業所敷地内で、グループホーム入居者の要請により、入居者当人の新聞を取るため、グループホームから新聞の置いてある地域活動支援センターへ歩いて移動しているとき、砂利に足をとられて右足首を捻った。	60	50～ 99
7	19～ 20	業者を浄化槽の場所まで案内するときに、建物と建物の間にある敷地内の通路を、左手に懐中電灯・筆記用具・眼鏡・浄化槽の鍵を持ち歩いていたとき、足元に注意していなかったため、躓いて転んでしまった。なお、石畳の小さな段差に躓いたのか、近くにあったドア止めに躓いたのかは定かではない。	68	100～ 299
7	18～ 19	居室において、食事を終えた利用者（入所者）を車椅子で運び臥床させたあと、帰るときに他の入所者が床に排出した尿で足を滑らせ、右膝を強打し、右膝蓋骨骨折を負った。	56	50～ 99
7	9～ 10	事業場の出入口で、ゴム荷の入出荷をしているとき、手にキャスターを持っている状態で、雨水で濡れたフロアで滑って転倒し、右ふともも大腿骨を骨折した。	53	10～ 29
7	4～5	施設内1Fの利用者居室前廊下にて、ナースコール対応のため移動中、急いでいたので歩行が不安定になり、左に体重がかかり、左足を捻ってしまった。	54	10～ 29
7	8～9	朝、出勤時に職場の駐車場にて躓いて転倒した。その際、左手と右膝を強打して動けなくなり、病院を受診したところ、左手首と右膝の骨折で入院となった。	60	10～ 29
	14～	社内デイルームで座ってレクリエーションをしていたとき、2.5m前方に座ってい		

7	15	た利用者が急に立ち上がったため、介助に向かおうと慌てて立ち上がり、駆け寄る途中に床に躓き、左足親指を床に強くついて、付け根部分を負傷した。	57	1～9
7	17～ 18	スタッフルーム等の清掃中に、キッチンからサニタリーに向かって歩いているとき、足を滑らせて転倒し、左足首を捻った。	56	1～9
7	16～ 17	グループホーム内の廊下で、洗濯物を取りに行こうと脱衣所へ向かっていたとき、上履きの滑り止めのゴムに躓いてバランスを崩し、そのまま加速がかかり、脱衣所のドアに激突し打撲した。	64	10～ 29
7	12～ 13	休憩のため寮母室に入ろうとした際に、出入り口3mm程の段差に躓き、前のめりに転倒した。その際に右足を捻じり、左肘を打撲し、右足背に腫脹と疼痛がみられ、歩行困難となった。また、冷汗、血圧低下、気分不快もみられ、しばらくベッド上で安静にした。	64	100 ～ 299
7	11～ 12	当日は雨が降っており、利用者の買い物のために訪れた店舗の入り口で、足を滑らせ転倒した。入り口付近は坂になっており、滑った際に下向きに転倒し、頭を強打し、左腕を擦り、左手と頭部に腫れが生じた。	60	10～ 29
7	11～ 12	被災者が集金のため顧客宅を訪問した際、勝手口より入室し、集金を済ませ、勝手口より退室しようとして勝手口階段1段目に足を運んだとき、床にワックスがかかっていたために滑って転倒し、そのまま土間まで転落した。転落の際、左足が身体の下敷きになり被災した。	59	10～ 29
7	11～ 12	浴室前の廊下にて、処置台を運んでいたとき、濡れていることに気づかず通ったため、足を滑らせ転倒し、腰を強打した。	75	1000 ～ 9999
7	13～ 14	施設近くの公民駐車場（椅子側）において、夏祭り準備のため、ワゴン車後ろリフトにて作業中、バランスを崩し後方へ転倒した。左手首に痛みがあったため、直ちに整形外科を受診したところ、左手首骨折の診断を受けた。	35	10～ 29
7	15～ 16	子どもがこぼしたお茶を拭いている途中、濡れた床で滑って転倒した。	63	30～ 49
	13～	外廊下のコンクリートの所で、両手に物を持っていたため、下にパイプが置いて		30～

7	14	あることに気付かず、パイプに乗って滑って転倒し、腰から転倒し、首を打撲した。	45	49
9	20～ 21	夜から施設内の入居者共同生活室（以後「リビング」）の拭き掃除（モップ掛け）を行い、その後、リビングに隣接する入居者居室内の拭き掃除も行っていった。掃除完了後、居室からリビングに出たところで、滑って右側臥位の状態で転倒した。	59	50～ 99
9	20～ 21	勤務場所から駐車場へ向かう途中の歩道で、勤務を終了し、帰宅のため駐車場へ向かって歩いていた時に、立ちくらみがしたので、しゃがもうとした時、歩道と駐車場の間に段差（10センチくらい）があり、段から落ちて前に倒れ、両手両足をついて受傷した。	46	100 ～ 299
9	10～ 11	1階浴室入口前の廊下において、2階で入浴介助後に同じ履き物で1階浴室にある洗濯物を取りに来た。そのとき、履き物の底がすり減っていたことと、履き物と足が濡れたままだったため、右足を滑らせて転倒する。その際、右手で体をかばい、右橈骨を骨折する。	62	10～ 29
9	10～ 11	浴場で利用者の入浴介助をしていた、洗体後に利用者を浴槽に入れ、ヒゲソリを脱衣場に取りに行き、洗体場に入る際に、右手にヒゲソリを持ち、浴槽に近寄る時にすべってしまい頭から転倒した。	50	50～ 99
9	11～ 12	遅番のため、勤務に入る、遅番は昼食当番のため、台所で昼食の準備中、コンロ付近より左側へ移動しようとした処、スリッパが中途半端な形となり左足を中心とした様に半回転し転倒受傷したもの、後日、骨折と診断され手術をした。	66	10～ 29
9	12～ 13	駐車場に於いて、業務中に歩行中転倒し負傷した。	73	30～ 49
9	17～ 18	放課後児童クラブの庭で、児童とバトミントンで遊んでいたところ、シャトルを打とうとして前に出た時に足をすべらせて転倒し、右手をついてしまい負傷した。	61	1～9
9	11～	介護棟で220号室の緊急コールが鳴った為、急いで向かっていたところ、その部屋の前で足がもつれた、転倒しそうになった為、部屋の入口のスライドドアにつ	65	50～



	12	かまろうとしたが、転倒の勢いでドアがスライドし、コンクリートの壁に左顔面を打ち付けた。		99
9	13～ 14	当施設の機械浴室内に利用者を連れて行き準備をしていたところ、利用者のガーズを忘れたことに気付き、入浴靴のまま早足で居室へ向かった。その際、居室前通路にて左足のつま先が床に突っかかり、左側の胸と左肘を床に強くぶつけ転倒した。激しい痛みがあり、動けなくなり負傷した。	51	100 ～ 299
9	16～ 17	夕方、0歳児保育室において、午前中の散歩のおりにかみつきをした子供の隣にいた子供が泣いたため、様子を見るため子供に近づこうとした時、すべり足元の子供の上にたおれこまないようにするため、床かかべに手をつき身体をささえたため、右手首を骨折した。	63	10～ 29
9	13～ 14	自転車にて、利用者宅から事務所へ戻る途中、歩道と道路の境界部分の段差に車輪がはまってしまい、ハンドルを取られて転倒、コンクリートに体を強打し、右腕、左脛、左膝を負傷した。	62	30～ 49
9	7～8	出勤時、事業場敷地内の駐車場で自家用車を降り玄関に向かう際に、急いでいたため両手に荷物を持って走ったところ、バランスを崩し転倒、右手を強打し負傷した。当日受診し、数日間痛みを我慢し勤務したが、後日再受診した際、医師から経過が悪いため安静にするよう指示があり休業した。	57	10～ 29
9	12～ 13	職場の玄関を出た駐車場で、自分の車に向かって歩いていた。階段を2段下りたところをつまずき転倒。左手に書類を持っていたため、右手で全身を支えようとして、右手首を骨折した。	60	10～ 29
9	13～ 14	施設内の廊下のモップ掛け掃除の際、両手で水モップを持ち床を拭きながら歩く、その時右足が前に滑り、モップを離し後方に右手を付きながら転ぶ。	62	50～ 99
9	10～ 11	公園から保育園へ忘れ物を取りに戻る途中、走っていて転び、アスファルトに膝をぶつけた。	49	50～ 99
9	14～ 15	入浴場の廊下にて、利用者のドライヤー中、他の職員から別の利用者の更衣介助のために呼ばれかけつけた、入浴場と廊下を行き来していた、その為、床が滑りやすくなっており、スリッパをはいて介助等をしていたことから、滑ってしまい	31	100 ～ 299

		右側臥位に転倒し、右腰部を打撲した。		
9	16～ 17	利用者宅へ買物代行・掃除の訪問介護中、近くのスーパーに買い物に行き利用者宅へ帰宅途中、歩道を徒歩で通行中、地面に痰のような物があり滑って転倒、左足を痛める、近くで見ていた人が湿布を下さり、貼って業務を続行、後日、左足首骨折と診断された。	66	300 ～ 499
9	9～ 10	当日、駅内に於いて、被災者が障害者移動支援で利用者様を通院のため付き添っていたところ、電車降車後、エスカレーターに乗り降りた時に利用者がつないでいた左手を振り切り突然走り出し追いかけた時、つまずき、前のめりに左手から顔を打つように倒れて、左手首と前歯を負傷した。	67	10～ 29
9	10～ 11	当日は運動会の予行日であり、道具の出し入れの都合でホール出入口のスロープを外しており、20～25cm程度の段差ができていた。使用後の道具を片付けようと大きい道具（軽量）を一人で運んでいた所、足元が見えなかったため、その段差を踏み外してしまい左足首を捻挫した。	40	10～ 29
9	13～ 14	休憩時間、詰所に入ろうとし2～3歩歩いた所で、バランスをくずし、転倒した。その際、右膝を打ち、皿にひびが入ったイスの背もたれで首を打ち、打撲。	66	30～ 49
9	19～ 20	なごみ室と呼ばれる医務室の隣の部屋で、モップを使い床の水拭きをしている時に、水拭きがひと通り終わったので、次の作業の準備の為に医務室に向かう途中、濡れた床で右足を滑らせた、その際、左足を巻き込んだ形で尻もちをつくように転倒した、他の職員に起こしてもらい、すぐに左足を冷やすが足首が腫れ上がり歩けなくなった。	42	50～ 99
9	14～ 15	特別養護老人ホームの入所者とのレクリエーションを見守っていた時、入所者が使用していた風船がフロアに転がったので、それを拾おうとしたところ、入所者の車椅子に足を引っかけてしまい、そのまま転倒し、膝を強打した。	53	50～ 99
10	15～ 16	利用者宅の浴室掃除中、床の掃除をしている時に、バランスを崩し転倒しないよう踏ん張ったため、右膝と腰を負傷。	36	30～ 49
10	11～ 12	浴室で利用者様の入浴介助中、利用者様の身体の位置をずらす際に足が滑り、右胸部に負荷がかかり、負傷した。	39	10～ 29

10	15～ 16	デイサービスのホールで、利用者とレクリエーション活動にて、ビーチバレーを実施中（利用者23名が椅子に座った状態になり、職員が輪の中に張り、ビーチボールが床に落ちないように続ける）、無理な体勢でボールを拾おうとしたら転倒し、右手を床について骨折した。	64	500 ～ 999
10	15～ 16	施設トイレの掃除時、トイレ内のゴミを外へ運び出し、トイレのドア付近の床（カーペット敷き）にゴミを降ろした後、後方へ方向転換した際、床に足がつかずき、そのまま体の左側を下にするように前方へ転倒した。転倒した際に、頭部・左肘・胸部を床に打ち付けた。	68	10～ 29
10	17～ 18	障害者入通所施設の2階風呂場にて女性利用者（知的身体障害者）の入浴支援中、男性利用者（同程度の障害あり）が間違えて浴室に入ってきたので、被災労働者が止めようとした。その際に誤って足を滑らせてしまい仰向けに転倒、体の背面（頭、腰、腕等）を床に強打し、負傷してしまった。負傷後、痛みが酷かった為、救急車で搬送されたものである。	73	50～ 99
10	18～ 19	利用者宅に訪問後、敷地内を歩行中、足を滑らせて転倒し、股関節に痺がはいった。	62	10～ 29
10	16～ 17	雨で道が濡れていたところ、利用者を自宅に送迎していた際、利用者宅前を歩いていて転倒し、負傷した。	48	100 ～ 299
10	21～ 22	施設南側（屋外）のゴミ捨て場付近で、ゴミを捨てるためゴミ捨て場に向かい、ゴミを捨てて施設内に戻る途中で、ゴミ捨て場付近のブロックの角に右足のひざ上（ふともも）をぶつけた。屋外に街灯がなかったため、真っ暗な中での作業となった。勤務中であったため、歩行が困難な状況で勤務を続けた。	68	30～ 49
10	10～ 11	納品先の会社で荷物を運んでいる時にマンホール横の出っ張っていたアスファルトに躓き、左くるぶしを骨折した。	49	50～ 99
10	10～ 11	お客様が脱衣所に足を踏み入れた際、足を滑らせて倒れそうになったので支えようとした時に、自分も足を滑らせて後ろに転倒した。その時に右足首捻挫、左臀部打撲と右膝内出血をした。右膝は前から痛めていたので、さらに悪化し、歩行にも支障をきたすようになった。	21	30～ 49

10	16～ 17	延長保育の時間中、倉庫前にいた園児1人が近くにいた友達を噛もうとしていた。それを止めようと畳の所から小走りで向かっている途中で滑って転び、左手を床につき負傷した。	63	30～ 49
10	11～ 12	訪問介護の仕事で利用者宅の門の手前で、生活支援の生ゴミを家の外の生ゴミコンポストに捨てに行く途中、台風の影響で雨が降って地面が滑りやすくなっていたため、土とコンクリートの境目で足を滑らし左足首を捻って、左前方に倒れて負傷してしまった。	54	10～ 29
10	11～ 12	敷地内の庭を清掃作業していた際に、足を滑らせ横転し、右足のひざ部分を骨折した。	74	100 ～ 299
10	15～ 16	ご入居者の居室から介護浴室に忘れ物を取りに行こうと廊下を走っていたところ、床に足が引っかかり、つんのめり転倒した。その際に右手から床についてしまい、右手第5指を骨折した。	54	30～ 49
10	11～ 12	当就労継続支援作業所入口付近にて歩行中に誤って転倒し、左肩を打ち、骨折した。	49	10～ 29
10	8～9	入所者の食事介助をした後下膳し、食事量を記入しに2階のホールを歩いていたところ、床に水がこぼれていたのに気づかずに転倒した。右膝の所を横に10cm以上の裂傷が出来る出血あり。すぐに圧迫した。	56	100 ～ 299
10	18～ 19	有料老人ホーム2Fにて作業中に入居者様の体調不良のコールがある。その対応に向かうため小走りになったところで床に滑って転倒した。（一瞬めまいがしたとの報告有り）転倒時に後ろに手をつき、手から異常音がなり、そのまま動くことが出来ず、他の職員を呼んで対応。	55	50～ 99
10	12～ 13	厨房内にて食器を出そうと乾燥機へ向かう際、足を滑らせ転倒した。	69	50～ 99
10	10～ 11	入所者の居室に介護のため入ったら尿失禁で床が濡れていた。床が濡れていることに気が付かなかつたため、足が滑り、尻餅をついた状態で転倒する。	58	10～ 29
	12～			10～

10	13	体育館をモップで掃除中に転倒し、左アキレス腱を断裂。	42	29
10	17~ 18	会社駐車場で、帰宅のため社用車と自家用車の入れ替え作業後、はずみで1m50cm位下の公道に転落した。体の左側を強打したが、とりあえず帰宅。痛みがひかず、骨折が判明し入院する。	53	30~ 49
10	9~ 10	入居者の部屋でバケツの水とモップを使いながら床のふき掃除を終わらせ振り返った時に床が濡れていて滑って転倒する。腹ばいに倒れたまま左腕を動かそうとすると激痛が走り、ぶらぶらとして全く動かない状態だった。右腕で体を支えながらなんとか起き上がりスタッフに大声で助けを呼ぶ。その場で簡単に固定してもらった。レントゲンで骨折と診断。	64	10~ 29
10	18~ 19	障がい者のグループホームの支援を終え、次の支援先へ徒歩で移動中、側溝の溝蓋と溝蓋の間の15cm程の隙間に左足を落とした際、体勢を崩し右足で踏ん張り右足を強打した。	58	10~ 29
10	8~9	小学校の体育館で保育園の運動会の準備をしている時、靴下をはいていたため、滑って転び、左手をついてしまった。	55	10~ 29
10	11~ 12	園庭で園児と遊具の片付けをする際に園庭のくぼみ部分に足をとられて捻った状態になった。	43	10~ 29
10	17~ 18	厨房内シンク横を通過しようとした際に床にこぼれていた水に足を滑らせ転倒しそうなためため咄嗟に右手をついた。	58	30~ 49
10	16~ 17	当日は入所者の洗濯物担当で洗濯物を整理する畳部屋から洗濯場へ行く時（畳部屋と洗濯場は10cmの段差がある）、中腰で靴を履く際にバランスを崩し右足を捻り、右足くすり指を骨折する。	63	50~ 99
10	14~ 15	台所のカウンター前において、お膳を下げていく際、床にこぼれた水で足を滑らせ転倒。痛めていた右膝を捻ってしまった。違和感あり、湿布を貼り様子観察。入院しての加療となった。	73	10~ 29
11	8~9	日勤業務にてユニット内利用者居室前にいたところ、他のスタッフから手伝ってほしいとの依頼があり、他の利用者の居室に向かおうとしていたところ、左足が滑ってしまったことで、左膝が内側に急激に曲がってしまい、左膝を負傷した。	33	30~ 49

11	8～9	事務室に送迎用の携帯電話を取りに行こうと廊下を小走りしたところ、左足が床に躓きとっさに右足で踏ん張ったが踏ん張りきれずに転倒し痛みがあったため即時通院となる。躓いた時に足首が反る形となり体重が乗り負荷がかかったと思われる。	59	10～ 29
11	9～ 10	事業所内で、利用者さんの飲み終わった湯呑みを下げようと台所に運ぶ際に右足首を捻った。そのまま、業務を続けたが、当日午後から痛みがひどくなった。翌日（日）の業務は右足を引きずっていたが休診のため、その翌日（月）に受診となった。受診後、右足首捻挫の診断で、じん帯も切れており装具の使用指示あり、2週間ごとの受診で改善せず、後日にMRIを実施し、右距踵関節骨挫傷で2週間の診断書が出て、休業に入る。	54	10～ 29
11	15～ 16	午後の日課で創作活動中、特に動きの活発な重度の女性利用者52才、支援区分6を見守りしながら支援していたところ、作業室にある椅子を倒し始めた。他の利用者が怪我をしないように制止しようとして、利用者の所に駆け寄ったところ躓き転倒し右肩を骨折した。	59	100 ～ 299
11	15～ 16	厨房内で排水溝の掃除を始めようと蓋を開けた時、腰を捻挫した。	53	300 ～ 499
11	14～ 15	被災者は木造建物平屋の解体作業の重機手元・相番作業に従事していた。その日、解体途中のフロアで残材を撤去する為に当該場所に立ち入り作業をしていた際、隣接エリア（同建物）の解体をしていた重機の振動により、天井の仕上材（木下地+ラスモル）が落下し右前腕、右足に当たり被災した。	67	50～ 99
11	16～ 17	作業場で翌日の現場の準備で足場板を運んでいたところ、誤って転倒して右手をついた際に担いでいた足場板を右手に落としてしまい負傷した。	53	30～ 49
11	17～ 18	キッチンの洗い場で、後片付けの為に冷板を拭いていたところ、洗い場のカゴの中にペティナイフがある事に気付かず、タオルがナイフに引っ掛かりナイフの刃が上を向いてしまい、そのまま右手親指下の所を刺してしまった。	55	50～ 99
	13～	訪問介護先（1人暮らし、要介護1）で、掃除・調理の作業をしている時に玄関		10～

11	14	チャイムが鳴ったので玄関に行った際、上がり框で足を踏み外した。“ボキッ”と音がし、痛みを伴ったため事務所に連絡を入れ病院へ行った。	57	29
11	12～ 13	介護サービス中に雨が降ってきたため、ベランダに干してあったまな板を取り込もうとし、距離が近かったため右足はベランダで左足が室内にある状態で取り込もうとしたら、滑ってしまい右足は前へ左足は外側に曲げた状態で転んでしまった。	64	100 ～ 299
11	11～ 12	お客様宅を出て、自転車を停めていた場所へ移動する際、段差に躓き転倒し、左足を地面に強打した。左膝に切り傷・あざ、左足くるぶしに腫れが見られるも2件ケアに行き、腫れが悪化してきた。左足くるぶしの骨折と診断された。	49	—
11	17～ 18	お客様送迎時、お客様のご自宅玄関に段差があり転倒した。気付いた時には顔面を強打しており、詳細は覚えていない。	60	10～ 29
11	10～ 11	事業場内利用者用浴室にて、入浴介助を行っていた。浴室から脱衣所にスリッパを履きながら移動したところ、出入り口に敷いていたバスタオルが濡れていたため足を滑らせ転倒した。転倒の際に、右手首付近を臀部で踏んでしまい、受傷した。	62	30～ 49
11	23～ 24	夜間巡回の為、療養室（多床室4人部屋）へ訪問し、ご利用者の排泄介助・巡回を終えてサービスステーションへ戻ろうとした際、ご利用者用のベッドから転落緩和の為に設置していたマットレスに躓き、両手を上に上げた状態で倒れ、右肩を下に打ちつけてしまった。その後、仮眠の時間だったので、横になったが痛みが治まらず、夜勤看護に指示を仰ぎ、勤務終業後受診したところ、骨折していた。	50	100 ～ 299
11	14～ 15	利用者と一緒に消防訓練を行った。利用者を抱きかかえて非常口の段差をおりるという訓練時、バランスを崩して利用者を抱きかかえながら倒れた。	38	30～ 49
11	9～ 10	送迎車の清掃をするために施設の玄関を出て車両に向かうところ、玄関から続く足元の点字ブロックに躓き、バランスを崩しよろけて転倒した。その際に花壇に左手をつき負傷した。	66	50～ 99
		玄関での転倒事故である。送迎車に装着する児童用のチャイルドシートを室内か		

11	16～ 17	ら運び出す作業をしていた。チャイルドシートを両手で持ち玄関から出ようとした時、玄関外のスロープで躓き、そのまま前方に倒れ込んだ。その際左手を地面に着いたため左手橈骨骨折となった。骨折などしていると思わなかったので、翌日に受診した。	58	～ 299
11	14～ 15	当社において、休憩を終え2階の持ち場へ行く前に休憩中の業務用PHS指定置き場である4階職員カウンターにPHSを取りに行き、カウンターとラックの間を歩きPHS置き場に右手を伸ばしながら左足を出し取ろうとしたところ、椅子の脚に左足を引っ掛け転倒し、右手をコンセントに接続されたシュレッターのプラグに着き、樹脂部分が折れてコンセントに刺さったまま残っていたプラグの平栓刃に右手が当たり受傷したものである。	27	50～ 99
11	16～ 17	施設内で業務終了後、下駄箱へ靴を取りに歩行していた時、バランスを崩し転倒し、剥離骨折となる怪我を負った。	50	50～ 99
11	15～ 16	訪問介護利用者宅に向かう途中に、マンションを入ってすぐのエレベーターが開いていたので、乗ろうと走ったところ転倒し右膝を負傷した。	67	30～ 49
11	5～6	自宅から移動中、路上にて転倒した。前方に向かって転倒しており、右足首、両膝、腰、右肩、両手首、右頬に強い衝撃を感じた。むかつきなども感じた為、すぐに職場へ連絡をし、自宅へ戻る。早朝であった為、擦過傷の部位の消毒と、痛みを感じる部位に湿布を貼付し様子を見る。翌日にかかりつけ医、翌々日に脳外科、整形外科を受診する。日毎に身体のあちこちに痛みを感じるようになる。右頬を強打したせいか、頭が重く、時々、目まいを起こしたり、気分が悪く、起きることが出来ない日もある。肩も上げると痛みがあり、重い物を持つことが出来ない。日が経つにつれ、少しずつ治ってくるであろうと診断され、湿布と鎮静剤を処方される。	46	10～ 29
11	12～ 13	利用者宅マンションから出ようとした際、前方から荷物を載せた台車が入って来た。道を譲ったところ、スロープの段差を踏み外し、転落した。痛みが引かなかったためその日のうちに病院へ行った。	55	50～ 99
		講習受講のため、大学へ出張中、受講会場に入室する際、引き戸サッシの段差に左足を打ち、躓いて転倒し、左第5中足骨を骨折したものである。当日は、痛み		30～



11	8~9	があったが最後まで受講し、自宅で湿布を貼り様子を見ていた。翌日に腫れがひどくなってきたため受診したものである。	40	49
11	8~9	朝の始業時間に遅れ仕事が詰まっていたために、急いで衛生材料等を載せたカートを押して居室から医務室に向かっていたところ、渡り廊下でイルミネーションのコードにカートの車輪が突っ掛かりカートと一緒に前方に転倒して、右手を強く床につけてしまった。右手の薬指が折れ曲がり激しい痛みを感じて、すぐに病院を受診した。	51	50~ 99
11	18~ 19	ヘルパーの仕事を終了し、会社の車に乗る時、暗かったので早く帰りたくて走っていて、転倒した。	60	10~ 29
11	15~ 16	施設内で利用者のレクリエーション（書道）終了後、洗濯室で筆を洗う作業中に、床に溢していた水に足をとられて転倒し、その際に右足第5中足骨を負傷した。	65	30~ 49
11	8~9	現場は駐車場で4tトラックのボディーから50cm四方のマットを抱えて移動する時に、下の方（足元）を注意していなかった為見えずに駐車場の車止めに、右足を引っ掛けて転んだ。	49	10~ 29
11	11~ 12	厨房内盛り付け台の前で、盛り付け作業中、台の上の皿を取る為40食用配膳車側から盛り付け台へ移動する際、他職員の左足先に躓き転倒した。他職員は60食用配膳車側を向き盛り付け台を背にしていた。盛り付け台と配膳車の間は狭かった為、他職員に躓き転倒し左膝から落ちた為、左半月板が割れた。	58	100 ~ 299
11	16~ 17	0才児の保育室で保育中、子どもを避けて進もうとした時に、バランスを崩し、右膝をドンと床についた直後、激痛がはしり歩行困難となった。	39	30~ 49
11	18~ 19	施設ユニット内において介護業務従事中、利用者の安否確認を行いながら他職員と業務内容について振り返りながら会話した後、正面を向き直った際に床に足が引っ掛かりもつれた状態で左膝から床面に転倒し、膝蓋骨を骨折したものである。	52	100 ~ 299
12	13~14	午後からの勤務のため、職員駐車場に到着後、車を駐車し、10cm程の積雪・圧雪の中、保育園に向かって歩き出した。保育園入口の10m程手前で足を滑らせ、バランスをくずしその拍子に左手を、凍っていた路面に打ちつけた。静かに立ち上	69	30~

		り、保育園に到着したが、左側手首に強い痛みがあるとの申し出があったので、整形外科を受診したところ、左手首の骨折との診断を受けた。		49
12	8~9	お客様宅に迎えに行った際、路面凍結のため滑って転倒し、右側に倒れ、右前腕が下敷きになる形となり、骨折した。	32	30~ 49
12	12~13	生活介護事業所の玄関にて、利用者に声掛け中に玄関と廊下の段差を踏み外し、右足首に受傷した。	61	10~ 29
12	18~19	ケアハウス厨房内で、生ゴミを移動しようと横に歩いたとき、排水口の所でつまずき横向きに転倒した。転倒の際、左手で衝撃を受け止めたため、左手首が腫れて痛みが出た。	67	10~ 29
12	12~13	施設裏の屋外職員通路をゴミを持ってゴミ置場まで移動中、前から来た職員とすれ違う際、バランスを崩し転倒して負傷した。	39	10~ 29
12	9~10	前日から当日の朝にかけ、血便があり、デイサービス朝の送迎後も腹痛があったため、急いでお手洗いに向かったが、お手洗いの前で預かった利用者宅の鍵を持っていることに気付き、先に事務所に戻そうと向きを変えた時に左足に重心がかかりひねってしまった。	55	50~ 99
12	9~10	多目的ルームにて本人がお盆の上にコップを置き、風呂場へ運ぶ際、床で足を滑らせて転倒し、右手関節・臀部を強打した。看護師も確認し、右前腺の内出血が確認できたので病院を受診し、右手首骨折と分かった。	64	30~ 49
12	16~17	小学校校庭において外遊び中、うんていで遊んでいた児童に呼ばれ、うんていに向かって走ったところ、足がもつれて転倒し、右上腕部（右肩）をうんていのハシゴ部分にぶつけた。	57	1~9
12	15~16	デイサービスの送迎をするために車両をとりに駐車場に行った時、足がもつれて車の脇で転倒した。	59	100 ~ 299
12	9~10	厨房内で調理作業中、片手でボウルを持ちながら移動した際、足が滑り転倒した。	49	100 ~ 299

12	14~15	入居者のシーツ交換後、シーツを持って廊下を歩行中、シーツに足が引っ掛かりつまずいて転倒し右膝を強く打った。	57	100 ~ 299
12	12~13	訪問サービス中、買い物代行でドラッグストアに行き、入口のマットにつまずき、滑って転倒し、大腿骨頸部を骨折した。	52	10~ 29
12	8~9	利用者宅の居室にて清拭用の洗面器を両手で持って移動中、床の段差にひっかかり、前向きで転倒した。周りにつかまる様な物も無く、洗面器を離さない様にひざから前かがみに転倒した。元々、居室は段差が多く注意して歩行していたが、洗面器を持っていた為、不注意な状態にあった。	64	30~ 49
12	19~20	保育園勤務終了後に施錠を確認して園舎に戻る際、慌てていて足元をよく見ていなかったため、保育園の庭のテラスの段差で躓いて転倒した。その際、めすき板の隙間に左手小指がちょうど挟まり、小指側に体重がかかる状態で手の甲が不自然に曲がり、小指つけ根が折れ曲がった。	52	10~ 29
12	9~10	当日行事（クリスマス会）の準備のため、施設2階にある厨房で食器の用意中に、左足が作業台に引っ掛かり、食器を持ったまま転倒した。その際、左に身体を捻って転倒したため、左の腰と腿辺りを強く打ち、大腿骨を骨折した。	60	30~ 49
12	21~22	保育終了後、研修のあと急いでいたため、園の門を出て駐車場まで急ぎ足で歩いていたら、バランスを崩して顔から地面にそのまま倒れて強打した。そのときに手を地面につき、親指を裂傷した。	37	50~ 99
12	11~12	施設内玄関ホールで調理の準備中に、掃除中の濡れた床の上で足を滑らせ転倒し、右肩を強く打ちつけた。	61	10~ 29
12	12~13	利用者宅にてモニタリングを終え、退室の際、居間の窓から外へ出るスロープとの間にある溝に右足首が挟まり、抜けない状態で後ろ向きにスロープ側へ転倒し、右膝下より強い痛みと痺れが生じ、歩行困難となった。	47	30~ 49
12	13~14	栄養課下処理室にて、業務終了の片づけ中、一緒に業務をしていた調理師がその場を離れて戻ってきたとき、被災者の姿が見えず、「痛い」という声が聞こえた。その声の方へ向うと、シンクと調理器具の間の床面に被災者が座っており	63	500 ~

		(足を前に投げだした形)、近寄ると左側の頬を手で覆いながら「滑って転んだ」と話し、床に滑ったような跡があり、鼻血がついていた。なお、事故発生当時、床は水で濡れていた。		999
12	16~17	当事業所駐車場で、デイサービス利用者を自宅まで送るため、送迎車に誘導しているとき、バランスを崩して転倒した。その際に足を捻り、左足首と足の小指を骨折した。	73	10~ 29
12	14~15	利用者宅を訪問時、二人体制のため団地横で待ち合わせて、サービス提供責任者の車に向かう途中、車道と歩道の段差に左足を置いたときに右足が引っかかり、転倒して右肩を強打し、右足の膝・右頬に傷を負った(肩腱板断裂)。	71	10~ 29
12	15~16	児童の忘れ物を届けるため、先に帰りかけた児童を追いかけた際、校内の廊下の段差で躓き転倒した。夜になっても左手の痛みがひかないので、病院を受診したところ、左手親指の付け根を骨折していた。	64	1~9
12	14~15	介護老人保健施設において、入所者の入浴着脱介助のため、居室から脱衣場への廊下を被災労働者が一人で歩いて移動していた際、脱衣場前の廊下が濡れていたことに気づかず、滑って転倒し、右足を痛めた。	58	100 ~ 299
12	6~7	就業先の調理場内の裏口から外に出て、待機している車へ配達用の食事を搬入するため、両手で食事を持ち、グレーチングの上に防音対策のために敷いているゴム製のマットの上を歩いているとき、右足が前方へ滑り、左足膝を地面へ打ち、激しい痛みが発生した。	31	30~ 49
12	15~16	職場敷地内にて、通いの利用者を送るため、車を建物玄関近くまで移動させたあと下車する際に、急いで施設に戻るため一気に右足、左足の順に着地し、後方(進路方向)へと体を反転させながら立ち上がり、歩行しようとしたところ、左足が不安定な状態で体重をかけてしまい、左足をアスファルトで躓いた。	51	50~ 99
12	15~16	施設内の4F共同トイレで清掃していたところ、床が濡れていたためかホースに躓き、バランスを崩して床に転倒し、右肩を強打した。	63	50~ 99
12	17~18	当日は事業所に駐車し、事業所から訪問先へは自転車で移動していた。訪問先で終業後、帰宅するために自動車を置いている事業所まで自転車で移動していた	67	100 ~

		際、段差によろけて転倒し、右手・右手首を骨折した。		299
12	16~17	施設内フロアの清掃中、ベランダ側からの窓拭き掃除が終了後、室内に戻ろうとフロアに入ったとき、入口付近にあったテレビのコードに足が引っ掛かり、左膝を床に強打した。	70	10~ 29
12	10~11	利用者が病院を受診するときの帯同のため、事業所出入口付近の下駄箱に靴を取りに行った際、足場の段差でバランスを崩し、左足小指に体重が乗り転倒して被災した。	59	10~ 29
12	13~14	環境保全教育研究所で、野外療育（門松作り）を行うため、竹を切る作業が終わり、作業台をかわして中に移動しようとしたところ、足元にあった竹の切り端を踏んで横転し、横転した際に右足首に自分の体重がかかり、捻って脱臼骨折した。	51	30~ 49
12	20~21	徘徊している女性利用者があり、廊下をうろうろしていたが、確認したときには男性居室に入っていて、寝ているベッドに近づこうとしていたため、慌てて利用者の所に走って駆け寄ろうとしたとき、廊下で足を躓いて転び、右手をついた。	45	50~ 99
12	17~18	利用者宅にて家事援助中、居間の卓上にある湯呑を洗おうと取りにいった際、台所と居間の段差（30cm程）に足が躓いてしまい、卓上の急須（熱湯）に触れた反動で急須がひっくり返し、右脇と右上腕（内側）周囲に熱湯をかぶり、火傷を負った。	66	300 ~ 499

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_11.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html)